

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への見直しの方向性が明示されたこと、現状の新規感染者数も低下していること等、商売環境が良化してきたなか、今後3～5月にかけては、卒入学や様々なオケーション対応があり、消費行動が間違いなく活発化すると考える。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・当社は観光地のなかに立地しているので、行動制限がなくなったことは明るい材料で、これから春休みを含めて観光客が来るのではないかと考えると、2～3か月後はかなり良くなっている。
	◎	旅行代理店（従業員）	・案件数がかなり顕著に伸びている。客単価は、物価等の影響で高くなってはいるものの、購買意欲が勝っている。
	○	商店街（代表者）	・卒業式や入学式、入社式等の記念写真撮影の注文が入ってきている。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・期待を込めてのやや良くなるである。新型コロナウイルスの新規感染者数がかなり減ってきており、祭りや行事を今までどおり実施するところが増えてきているので、期待したい。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の分類が2類相当から5類に変更になることで、今後、観光客が増加するだろうとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・暖かくなると客足が伸びるため、やや良くなる。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルス感染症に対する国の見解等が、割と具体的な政策として出てきていることも、人の動きの背景にあると思う。皆、具体的な政策等に敏感になっていて、安心材料として、幾分、人の動きが出てきたようである。
	○	乗用車販売店（従業員）	・受注が増えて、納期遅延車両の解消も進んでおり、登録台数も受注残も増えてきている。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・客の動向が新型コロナウイルス感染症発生前の日常に戻ってきたようである。しかし、仕入単価がアップしているので、価格の見直しで良い方向にいければと思っている。メーカーや問屋の動きは、まだコロナ禍を引きずっているようである。
	○	一般レストラン（経営者）	・物価高騰分、賃金が増えれば、行動制限もなくなり、暖かくなることから、少しずつ新型コロナウイルス感染症発生前に戻るのではないかと予想している。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・歓送迎会の時期で新年度の始まりでもあるので、季節的に動くのではないかと予想している。現時点でも先の宴会予約が多少入ってきている。
	○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の5類への引下げ以降が、最大のポイントとなる。業界的には3か月後の予約からスタートとなるので、半年近く耐え抜かないといけない。現在から3か月後の予約は、前年よりは確かに増えてはいるので、やや良くなるとも言える。
	○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引下げられるとの報道発表後、明らかに予約数が増えている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・前年に比べて、宿泊は団体受注が多く売上の下支えとなっている。全国旅行支援が終わっても、変わらずに前年比を超えているのは良い材料である。レストランでも、ランチ売上はインターネット予約が堅調で、平日でも満席の日が出てきている。人員不足で、ディナーは定休せざるを得ないのが残念である。宴会も持ち直しの兆しは出てきたが、3月は新型コロナウイルスの感染第8波によるキャンセル分はカバーしきれない。4月以降の新年度で、客の心理的なスイッチが変わることに期待したい。
	○	旅行代理店（経営者）	・時期的に5月頃から旅行が動き始めるため、やや良くなる。
○	旅行代理店（所長）	・5月には、新型コロナウイルス感染症も5類になる。各地のイベントへの規制も減っていくので、景気は間違いなく上がっていく。	
○	タクシー（経営者）	・全体的に動きは良くなってきたので、この先も良くなる。	
○	設計事務所（所長）	・天候も暖かくなり、新年度が始まるため、景気は良くなるのではないかと。	

○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・今夏の電気代高騰の報道もあり、省エネに対する関心が高い。今までの商材アプローチに加え、何らかの新しい効果的な提案が求められると思っている。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・三寒四温というが、これから花が咲いて青葉若葉のころになれば、商材の値上がりに対しても皆、仕方がないと諦めムードで、人の動きが出てくるとは思うが、現状維持ではないか。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・3月13日より、マスク着用が個人の判断にゆだねられるとの発表があったが、発表以降、人の動きが活発化している。そうしたことから景気は良くなると考えるが、同業者からは「観光業は慢性的な人手不足に陥っており、訪れる観光客を迎え入れる体制が整わないのではないか」という話を聞いている。結果的に景気は変わらない水準で推移するのではないか。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染症法上の5類引下げや、マスク着用緩和により、コロナ禍前の日常生活に戻りつつある。ただし、足元ではエネルギー価格を始めとした物価高が消費にブレーキを掛けている状況で、向こう数か月は同様の状況が継続すると思われる。
□	百貨店（営業担当）	・足元では改善の兆しは見られるものの、ウクライナ情勢などによる世界情勢の不透明感が払拭されない状況や、価格高騰の波がこの春以降も続くことから、先行きが読めない。景気の良さの判断が難しい。
□	百貨店（店長）	・人流が回復傾向にあり、売上はやや良くなるという期待はあるものの、新型コロナウイルス感染症発生前までには戻りきっていない。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきて、3月からの行動制限解除によって、明るい方に向かってほしいと期待している。その一方で、電気代の高騰と経費増大で利益が圧迫され、経営の厳しさを感じている。売上が横ばい状態では、とても利益を確保することができず、この先の人件費等の増加を考えると、非常に心配である。
□	コンビニ（店長）	・現状と余り変化がないと思われる。
□	衣料品専門店（統括）	・今後、少しの間は同じような状況が続いていくのではないかと心配している。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産台数の目標発表は多少なりとも強気で、販売台数もほぼ順調である。ただし、半導体等を使用する部品ユニットの調達が不安定なことは心配である。相変わらず、大規模小売店や食料品のチェーン店の来客数は従来どおりだが、街の小売店は残念な状況である。
□	自動車備品販売店（経営者）	・客一人一人が、将来に向かっての希望や生活を楽しんでいる様子が余り感じられない。かつて東日本大震災のときは、高速道路等が無料になって、とりあえず旅行に行ってみた、楽しかった等の話があった。簡単なシステムで皆の利益が共有でき楽しむことができていた。車が壊れても怒るようなことはなく、買換えたり、修理する流れがあった。そのような単純なシステムで、国民一人一人に補助金なり、ポイント等を付けてもらえるといい。税金を上げるというようなムードになると、どうしても消費は萎えてしまう。
□	住関連専門店（仕入担当）	・ほぼ全商材で値上げの影響がいまだに続き、同じ商材群でも2回目、3回目の値上げが継続的に発生しているようである。当面は節約志向が続く。
□	都市型ホテル（支配人）	・全国旅行支援が3月で終了する影響が出てくる可能性がある。
□	タクシー運転手	・まだまだ、時間が掛かりそうな気がする。
□	通信会社（社員）	・これまでの生活スタイルを維持しようとした場合、支出が増えるので何かしらの支出を抑える必要がある。3か月先という視点では変わらないが、悪くなる方向になる。
□	通信会社（営業担当）	・世界情勢の変化がない限り、輸送コストが増えていることで物価高が続く。
□	テーマパーク（職員）	・現状が続けば、少しずつ来園者は増えてくるとは思うが、諸物価や水道光熱費の高騰等、来場者の増加よりも経費の増加の方が大きくなり、結果として景気は良くならない。
□	ゴルフ場（従業員）	・順調だった来場者数が、ポストコロナで減少に転じないように努めたい。
□	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も落ち着いてきているなかで、来場者の動向に変化が出てくることに期待したい。

	□	美容室（経営者）	・施術料金を10%値上げしたばかりの1～2月の売上は、前年同月比で10%増えたものの、営業利益は同6%増にとどまっている。光熱費と仕入商材の高騰が利益を圧迫している上に、前年夏に従業員の給料を上げた影響もある。
	□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・期待できる材料がない。
	□	その他サービス〔自動車整備業〕（従業員）	・物価が上がる話ばかりが出ていて、景気が良くなる話を聞かない。
	□	住宅販売会社（経営者）	・ロシアとウクライナの戦争が終われば改善されるだろうが、見通しが立たない。
	▲	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・今後、再度の商材値上げが予定されているため、やや悪くなる。
	▲	スーパー（総務担当）	・電気代が3割増になれば、必然的に購買意欲は下がり、景気は悪化する。
	▲	スーパー（商品部担当）	・値上げラッシュの波が止まらない限り、良くなることは考えにくい。新型コロナウイルス感染症も5類に引下げられて人の動き方も変わると思われるが、すぐに良くなることはない。
	▲	家電量販店（店員）	・夏の天候次第である。季節的要因が大きく影響しなかった場合は、新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和され、消費が外に向き、巣籠り需要は減少する。
	▲	住関連専門店（店長）	・ウクライナ問題が1年継続し、物価上昇の歯止めが効かない。会社の業績が上向かなければ、行政が示しているほど賃上げの動きは進んでいかない。
	▲	その他専門店（総務担当）	・この先の受注見込みが薄い。
	▲	一般レストラン（経営者）	・このまま客単価の低い状態が続けば、客が安い方へと向かう流れができそうで心配である。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・賃上げが広く検討されているなかで、労働集約型産業である給食業務では、人材確保が更に厳しさを増している。一方で、異業種からの参入も加わり、入札等での条件引上げも進みにくく、当面は収益が圧迫される状態が続くものと思われる。
	▲	通信会社（経営者）	・仕入コストの上昇を、即、売価に転嫁できるのは大手だけで、中小零細はいまだに激しい価格競争をしているのが現状である。エンドユーザーは、どこで買うのが一番安いかを常にチェックしている。これでは人件費を上げるどころか、現状維持するのも大変である。
	▲	通信会社（総務担当）	・食料、インフラ、生活や職場での必需品の値上げで出費が増え、それを補う物がないため、やや悪くなる。
	▲	通信会社（局長）	・物価高や電気料金の高騰が、家計を圧迫し続けている。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・物価高、エネルギー料金の高騰で、客はかなり疲弊している。良い物を買おうという考えはほとんどない。今後、景気が回復しない限り、今以上に悪くなることが予想される。
	×	乗用車販売店（経営者）	・いまだに、納期が長期化している現状から、変化する様子が感じられない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・外食業は円安が進んで原価高になっているが、更に価格改定が進む。また、食料品や電気、ガスの値上げも発表されており、引き続き、家計を圧迫することが分かっているため、悪くなる。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・商材の動きが少し早まってきており、この調子で商材が動くと思っている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・ビル関係インフラのメンテナンス需要が高まっているため、やや良くなる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車に関しても生産ライン停止により受注残を多く抱えていることから、先々の仕事は豊富にある。EV生産用の新規ライン投資等に関連して、ロボット業界の仕事も忙しい状況が続く見込みである。
	○	輸送業（営業担当）	・年度替わりによる新生活のための引っ越し便や新生活用品、白物家電、インテリア等は、前年並みの物量を確保予定である。
	○	経営コンサルタント	・ウクライナ戦争の先行き不透明感による先々の経済活動上の悪影響が拭いきれないが、旅行や買物といった個人の消費意欲は上昇傾向にあり、それに伴って企業の生産活動が上向いてくる。

	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注状況からみても収益が改善され、先行きは良くなる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・原材料の値上げがいつまで続くのか心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・前月も報告した単価交渉の結果だが、1社が4月から全面的に単価を上げてくれることになったので、希望を持っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・原材料や光熱費の高騰、さらに当社で使用する工具や海外からの調達品の欠品や物不足による影響が深刻である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が予想に反してがくっと落ちてしまっている。今後、増えずにしばらく低空飛行が続いてしまう可能性がある。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・主力製品にやや落ち込みはあるものの、家電分野で増産傾向にあるため、変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注や販売量の動き、受注単価、販売価格の動き、取引先の様子等は、いずれも余り良くなってはいない。今後もこのまま余り変わらない状況が続くのではないかと。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力取引先の部品調達問題から、生産調整を余儀なくされている。数か月先まで受注が読めない状況にある。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルス感染症の影響が残ると考える。
	□	不動産業（管理担当）	・ビルテナントの新規入居はあるが、その分退去もある。その他、物価高の影響がまだ続くと思われるが、値上げ交渉も以前よりは受け入れてくれる取引先も増えてきているので、横ばいのまま変わらない。
	□	司法書士	・ほんの僅かだが、上向いているのは良かったと思っている。これから将来に向かって、このままいくとは考えられないので、今月の少し良かったのは一過性のものかと考えている。
	□	社会保険労務士	・春祭り等のイベントは従来どおり開催されるようである。ただし、大企業の賃上げだけでは、景気が良くなるまでには至らない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・原材料が高くなっており、電気代や光熱費も上昇している。上場企業は従業員の賃上げができるが、中小企業は大幅にはできない等、一段と経営を難しくする要因が多い。
	▲	建設業（総務担当）	・繰越工事は少なく、補正予算の効果もまだないため、非常に先行きが不安である。
	×	建設業（開発担当）	・現与党政権の下、公共工事は順調に推移してきたが、3年前からのコロナ禍の影響が大きく、今期の公共工事は前年比7%減、前々年比は20%減と厳しい。当社受注も前期比で10%減と、厳しい決算になるのではないかと心配している。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・スーパー等の小売部門では、生鮮食料品の動きと、年度末や新年度、春に向けての商材構成をかなり早めに固めているようなので、この辺りの伸びが期待できるとみている。公共料金の電気等の値上げ、ガソリン価格については落ち着いてきているものの、今後については不透明な状況なので、かなり備蓄しているところもあるのではないかと。出費や投資等は控えているようである。
	□	人材派遣会社（社員）	・大手企業を中心に賃上げ報道が目立つものの、地方の中小企業の実態は厳しく、温度差を感じている。
	□	人材派遣会社（従業員）	・人材募集の依頼はあるものの、求職者が少ない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人は、持ち直しの動きが広がりつつあるものの、電気代高騰や物価上昇等の不安要因から、引き続き、雇用に与える影響等に留意が必要である。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人数の動向では人手不足が懸念され、業務縮小等の方向へと進む企業も増加していく可能性もあるため、景気の変動は難しいと考えられる。
	▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症に対する警戒感が薄れてきて、人や社会が動いていくという段階になっているにもかかわらず、原材料費、物価高がある。身近で話を聞いても、物価だけが先に上がっていて、実入りが増えてくるまでタイムラグがあって大分先になることを考えると、やはり買い控え等で、やや悪くなる。

	▲	人材派遣会社（管理担当）	・ 4月以降、派遣取引先との契約が終了になることや、サービス業務への派遣契約件数が少ないため、やや悪くなる。
	▲	職業安定所（職員）	・ 海外から新型コロナウイルスオミクロン株の別系統が入ってくる可能性が高く、やや悪くなる。
	×	*	*